

簡易定型文書作成システム

— ユーザインタフェース —

7P-1

土田 泰治・辻 順一郎・坂下 善彦

(三菱電機 情報電子研究所)

1. はじめに

社内で作成される文書の多くは、スタイルが定まった定型文書と呼ばれるものである。現在それらの定型文書を作成する場合は、手書きで作成するか、WP から出力した文書を糊とはさみで用紙に張るか、または WP を用いた定型文書の作成支援システムを用いていた。その作成支援システムでは、特定の H/W でしか利用できず、そこで作成した定型文書のデータは、他のシステムで利用することができなかった。そこで、我々は、H/W の制約を受けない文書処理言語 MDL (Mitsubishi Document Language) を定め、MDL を用いて定型文書のデータを作成するシステムを構築した。この MDL データは、このシステムでのみ利用するのではなく、他のシステムまたはアプリケーションで利用可能である。ユーザが定型文書を作成する場合は、MDL を直接記述するのではなく過去に作成したデータや、システム構築者が定めたデフォルト値を用いて MDL を意識せずに定型文書を作成する簡易入力システムの設計も同時に行った。

本稿では、本システムの特徴を述べた後、システム構成、本システムで利用するデータベースファイルの構成について記述し、最後に本システムの問題点について述べる。

2. 本システムの特徴

本システムの特徴は、次のとおりである。

- MDL は、H/W に依存していない。MDL は、H/W に依存していないため、色々な処理システムでデータの表示や出力を行ったり、他のアプリケーションのデータベースとして再利用が可能となる。
- データの入力時に各種のデータベースファイルやデフォルトファイルからデータを入力することができる。ユーザがデフォルト値を定めておくことにより毎回同じ記述をしなくても良い。
- 過去に作成したデータを基に定型文書を作成することができる。定型文書は、過去に作成したデータを基に何度も同様な文書を作成する機会が多いので、過去に作成した文書をサンプル文書として利用することにより、容易に文書を作成できる。

3. システム構成

本システムの構成を1図に示す。ユーザは、“簡易入力処理”で MDL データを作成する。“簡易入力処理”では、“DB ファイル”、“定義ファイル”及び“過去に作成した文書データ”から MDL データを作成する。作成された MDL データは、“md12tex”処理で MDL データから T_EX データに変換される。変換された T_EX データを T_EX 処理系でプリンタやディスプレイへ出力する。

4. データベースファイルの構成

“簡易入力処理”では、次に示すデータベース (DB) ファイルを利用する。

- 定義ファイル: 簡易入力で利用可能な定型文書の種類を示す。
- フォーマットファイル: 定型文書に記述すべき項目を表す。
- デフォルトファイル: フォーマットファイルの項目に対応するデフォルトデータを記述する。
- 個別情報ファイル: フォーマット情報から参照する項目に対する各種の情報を記述する。
 - 氏名 DB: 定型文書で利用される氏名の集まりを記述する。
 - 電話 DB: 氏名に対応する電話番号を記述する。
 - 場所 DB: 会議の場所など通常良く利用する場所を記述する。
 - その他: その他定型文書で利用される情報ファイル。

5. 終りに

本稿では、定型文書を簡単に作成するシステムについて述べた。現在本システムは、perl という言語を用いて、UNIX システム上にプロトタイプを構築している。

現在のわかっている問題点として、次のものがある。

- 個別情報ファイルの整理: 現在の分類では、データが冗長であったり、必要な情報が足りなかったりしている部分がある。定型文書で利用されるデータの整理・分類を行う必要がある。
- ユーザインタフェースの改善: 現在のプロトタイプシステムは、日本語端末上でデータの入出力を行っている。次版は、ウィンドウシステム (例えば、X-Window) 上でウィンドウメニューを用いたシステムとし、容易な入力や検索ができるシステムにする必要がある。

今後、上記問題点を解決しながらシステムの開発を行っていく予定である。

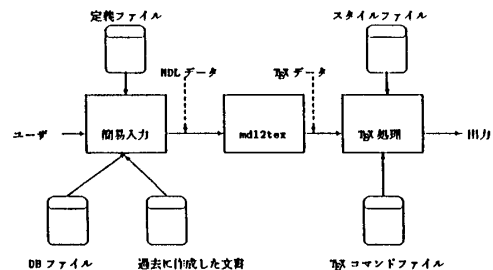


図1: 本システムの構成

Simple Document Preparation System for Fixed Format Documents

Tajji Tsuchida, Junichiro Tsuji, Yoshihiko Sakashita

MITSUBISHI Electric Corporation